

デッキを磨けば入港目前【水高記者DIARY】2月16日

地域 島根 石見

2024/3/11 (最終更新: 2024/3/11)

島根県水産練習船「神海丸」に乗り込み、ハワイ沖で実習に取り組む浜田水産高(同県浜田市)海洋技術科2年生、関蒼太郎さん(17)=広島市中区出身=が船上の日々を記します。



ヤシ擦りをする浜田水産高生たち



2月16日 北緯21度10分 西経157度56分

浜田出港後29日目です。日本の皆さまいかがお過ごしでしょうか。

現在私たちは操業を終え、ハワイへ向けて回航中です。昨日の午後からオアフ島が見えていて、今日はホノルルの市街地が見えるほどに接近しました。ここから一夜漂泊し、翌朝入港する予定になっています。

入港準備の一環として、昨日と今日、大掃除をしました。大まかな流れは1月の終わりと同じですが、今回はデッキの清掃「ヤシ擦り」が加わります。

名前の通り、洗剤と研磨用の砂をまいたデッキを、二つに割ったココヤシ（ヤシの実）の殻で磨き上げます。これがかなりしんどい。体重を乗せて床を擦り続けるため、手や腕はもちろんのこと、徐々に全身が疲れてきます。

デッキを擦り続けること約3時間、真っ黒な泡を流すときれいな木目が現れました。その美しさは確かな達成感を感じるものでした。

作業が終わった後、デッキに出てみると携帯の電波が届き、間もなく画面に通知が次々と表示されました。1カ月分の通知をさばき終えた後、家族と久しぶりの連絡を交わすことができました。家族と話せたことで、私の心はかなり安らぎましたが、ちょっとだけ日本を恋しく感じた、そんな時間でした。

明日は入港ですが、本格的にハワイの町を歩けるのはあさってから。ただ、陸と町が見えるだけで人の心は安らぐもの。今日はいつもよりゆっくりと休めそうです。（浜田水産高海洋技術科2年・関蒼太郎）